



〒222-0011 横浜市港北区菊名 4-10-37  
TEL&FAX 045-431-4070  
HP:rangakusya.com FB:らんがく舎

## 超久しぶりのアウトドア

ようやく緊急事態宣言も解除され、ではアウトドアへ！でも心配な要素をできるだけ少なくするため、今回は徒歩での小机城址散歩としました。らんがく舎でお

弁当を作り、菊名から横浜線沿いに歩いて新横浜駅へ。ここでお弁当のおかずを買い足して(当然崎陽軒のシューマイです)駅前広場でみかんを食べて一息入れ、また歩き出します。新横浜の国際競技場を裏から見るのは舎長も初めてで新鮮な風景ですが、新幹線がすべて停まるのに駅の周りには



まだまだ畑が多いのもこの駅の特徴です。駅北口はビルが立ち並んでいます、南口にはホームからも畑が見えます。競技場周りにも畑が多く、歩きながら野菜の株で名前を当てながら歩いていきました。野菜が畑にある状態とお店に並んでいるのではずいぶん違うので、楽しく勉強になりました。

結構歩きようやくお城跡につきました。一の丸広場でシューマイを分け合い、お湯を沸かしてスープを飲んでのアウトドア食事は本当に気持ち良いものです。心なしかみんなの顔もはればれとしていました。



城跡を一周すると竹を切っている人たちに会いました。ここはボランティアグループが竹林の管理をしていますが、以前阪神淡路大震災の追悼キャンドルイベントを山下公園でやった際に大変お世話になったグループです。お礼を言って散歩を続けます。この日はみんな1万歩以上歩いています。スマホを所持する人達で自慢しあうのも最近のらんがく舎の健康的な流行です。

11月には竹灯籠祭りがあるとのチラシを見かけたので、11月のアウトドアは決まりました。

## タブレット役に立ち始める

ゲームなどで皆が楽しみ、その結果できることややりたいことが広がることを目論んで買ったタブレットです。タブレット・空気清浄機とらんがく舎としては大きな出費でしたが、皆に必要なものなので清水の舞台から飛び降りて購入したのでした。

それからいろいろ役に立ち始めています。タブレットは基本ゲーム用としていますが、伊藤君、祥太君は魚釣りゲームを、青木君優太君は「すいかの名産地2」をうまく操れるようになりました。特に優太君は、自由時間にゲームを独占するほど熱中していて、舎長の記録に追い付きそうなほど上達しています。青木君も舎長に張り合って一生懸命練習しています。

## やっちゃったよ

らんがく舎は販売活動であちこち出かけます。それはそこでの出会いから、障害を持つ人への誤解を解きたいからです。そんな販売先の一つに馬込共同保育所があります。ここは青木君のお気に入りの場所です。小さな子が好きな青木君はボランティアとして何回か一人でお手伝いをさせてもらったこともありました。

そんな関係なのでバザーの時はいつも販売をさせてもらっていました。しかしこのコロナ禍で去年は開催できませんでした。でも少しおさまってきたこの時期に「バザー開きます」のお知らせが届きました。どうしようかと思いつつ、既にストレッチが入っている10月30日、これは無理だと思っていたところ、馬込共同保育所から電話が来ました。

「あのお、らんがく舎さんがバザーに出店したいときたんですが…」

「えーッ？」



「青木さんから、らんがく舎は出店するんでよろしくお願ひしますって電話があったんで」

「うっそーッ」

これはすててはおけない話なので、青木君に電話しました。

「らんがく舎は何かやる時は皆で相談するでしょ」

「バザーに出るのはだれが決めるの？」

一対一で話せばきちんと分かるんですけどね。

馬込の電話番号など教えてもいないのに、と思い確認したらやはりネット検索したようです。できちゃうんですよね。やっちゃうんですよね。ネット検索を使いこなせるのはすごい！ですが、今回は使い方を間違っていましたね。

この件でしっかりと釘を刺された青木君、この失敗を糧にしてくださいね。

## ライン、写真、ユーチューブ

ラインも少しづつ使いこなせるようになっていきます。家を出る時と帰宅した後は連絡ラインがあるが、それ以外は無反応の優太君。多分出かけるとき以外は見ないんでしょうね。たこ焼きパーティーの写真や動画を送ってくれたのは青木君。でも同じ動画を何度も送るのはやめてくださいと伝えてもまた美味しいけど食べられないたこ焼きが届きます。今度は食べさせてねと言います。

もっとも手放して喜べるわけではありません。ラインを送りすぎるため使用を制限される人もいます。しかし話せばすぐにわかるわけではないひと達にはやはり失敗から学んでもらう方が効果的だと思うのです。ですから相手は失敗してもかまわない関係の人を選べばよいと思います。そんな失敗を許してくれる関係を増やすのがらんがく舎の役割だと思います。それを「街を耕す」との言葉で表したのが横浜市緑区にある作業所「ぶかぶか」です。らんがく舎が今までやってきたことも街を耕していたのだなあと、この言葉に出会って納得しました。

## ユーチューブデビューの前原君は

ラインではなく、ユーチューブデビューしたのが前原君。お気に入りの恐竜(怪獣ではないと何回も念押しされたのは舎長です)の解説ユーチューブは1700回も再生されたものもあり(先週の土曜日段階)なかなかです。

みんなの写真もそれぞれのページに載せています。ハンドルネームを使っていますが、保護者の皆さんならすぐにわかるはずですよ。ぜひのぞいてみてください。

最近の前原君は高校に入ってからこともあってかとても落ち着いてきました。背も伸びてきていよいよ細さが目立ちますが、以前のような行動は無くなり、後片付けの際もじゃんけんやあみだくじに参加して、当たった場合はおとなしく仕事をしてくれます。やはりどの人も成長しますね。これからが楽しみです。

## ああ、御鳴楽

らんがく舎では人前でおならをするのは厳禁です(どこでもそうだけど)。でも時々どこかから怪しい音がします。「おならをしたのは誰ですか?」と訊くと「ぼくです!!」と元気よく自白してくれる祥太君。「やってないですよお」と慌てる土田君。犯人を告発する優太君。人それぞれの楽しいリアクションを見せてくれます。

